



2011年9月、石狩湾新港付近のサケ定置網に混入したジンベエザメ (撮影:清水周一郎さん)



世界最大の魚、石狩に出現!

2011年9月16日。定置網を引き揚げたところ、中には巨大な魚が入っていて暴れていました。もがく巨体で船は転覆しそうになりましたが、網の口(約11~13m)に頭と尾が引つ掛かり、なかなか逃がすことができません。網や漁船の大きさと比較して、体長は推測14~15m。なんとか網の外に追いつくと、その魚は悠々と泳ぎ去っていきました。残ったのは携帯電話で撮影された2枚の画像だけ。青みがかった灰色の全身に、白い斑点

模様。一目で分かります。ジンベエザメ。しかも最大級の。

石狩のサケ定置網にジンベエザメが混入したらしい——。2013年10月、資料館にそんな情報が入ってきました。これは聞き捨てならぬ! 漁協に行き、早朝の水揚げが終わって網の手入れをしていた漁師さんから聞いた2年前の事件が、この話でした。

世界最大の魚、ジンベエザメ。体長が計測された最大記録は

はあるのでしょうか。調べてみたところ、今回明らかになった石狩の例を含めて、3件ありました。

2012年、余市沖で体長3mのジンベエザメが混獲された例がありました。おたる水族館に運ばれ、しばらく飼育・公開されたので、見に行つた人もいるかもしれません。しかしエサを食べてくれなかったため、10日後、衰弱する前に海へ帰したそうです。これをきっかけに水族館の学芸員が道内の記録を調査中ですが、これまでのところ、余市

13・7mですが、おそらく最大17~18mまでなるだろう、といわれています。これは現在の魚類では最も大きく、大型のクジラ類に匹敵するほど。世界中の赤道付近、熱帯から温帯にかけての暖かい海に生息していて、サメといつても性格はおとなしく、食事はプランクトンや小魚を海水ごと飲み込みます。沖縄や大阪などの水族館で飼育されていますが、本来、北海道周辺の海には生息していないジンベエザメ。道内ではかに見つかったこと

の例のほか、増毛(2011年9月)、そして石狩の例しか、記録は見つかっていないようです。増毛で発見されたのは石狩とほぼ同時期ですが、全長は5m程度なので、明らかに別の個体です。

マンボウ、マグロ、アオイガイなど、近年の北海道沿岸では、本来は暖かい海に分布する生物の増加が目立っています。ジンベエザメの例も、もしかしたら海水温の変化の影響かもしれません。

(志賀健司)



ジンベエザメ

(フリー百科事典「ウィキペディア(Wikipedia)」(Zac Wolf, Stefan)より)



志賀健司 Kenji Shiga

専門は地質学・漂着物学・海辺学。地球の環境の変遷などを調べるとともに、石狩の浜辺にどんなものが漂着し、それがどんな意味を持っているかを研究する。

ERIS 「いしかり博物誌」は、えりすいしかりネットテレビ(<http://www.i-eris.tv/>)でもご覧いただけます。

石狩暮らし

市民の“十人十色”な暮らしを、ご紹介します。



①



②



③



④



⑤

- ①② 伊藤家の国際交流の様子。初詣や、りんご狩りを一緒に楽しみました。
- ③ 昨年10/27開催の「ワールドフェスティバル2013」で司会を務めたショーン・ウィルソンさんと、小野勝博さん(小野さんは石狩からの交換留学生)。
- ④ 同「ワールドフェスティバル2013」でお手伝いをする伊藤尚美さん。
- ⑤ キャンベルリバー市と姉妹都市提携30周年を迎え、昨年6月、石狩市民が同市を訪問。伊藤さんも参加し、かつての留学生たちと再会しました。

家庭でできる国際交流

大切なのは普通であること。

姉妹都市のキャンベルリバー市から交換留学生が来るようになったのは昭和58年のこと。昨年8月にやって来たショーン・ウィルソンさん(17)で、100人目となりました。

ウィルソンさんは7月まで、9つのホストファミリーを、それぞれ2カ月ほど滞在しながら、石狩翔陽高校に通います。

取材時、ウィルソンさんが居たのは伊藤家でした。伊藤家は、平成12年からホストファミリーに参加。きっかけはその前年、カナダを訪れた際、現地の人々の気さくで優しい人柄に魅了されたからでした。以来、12人の留学生をホームステイに迎えています。「中には、部屋に閉じこもってゲームに夢

中という子もいます。カナダの子どもも日本の子どもとあまり変わりませんね」と伊藤尚美さん(45)。言葉が通じず、うまく交流できない歯がゆさが留学生にもあるのでしょう。しかし、伊藤さんはそんなときこそ日本語でどンドン話かけます。「あるとき、気持ちがあふくと通じ合う瞬間があるんです。これぞ、ホストファミリーの醍醐味ですよ！」

留学生が喜ぶのは、お弁当やお年玉など、私たちの生活では普通のこと。「除夜の鐘なんか、留学生には大人気。あるとき、そんなゴンゴンやっている姿を見ていたら、なあんだ、こんなことでいいのかと。やってみれば何とかなるものですよ」

皆さんも伊藤さんのように、家庭でできる国際交流を始めてみませんか？

ホストファミリー

カナダからの留学生を、約2カ月間受け入れてくれるボランティアを毎年春先に募集します。これまで延べ389軒の家庭にご協力いただきました。興味のある方はぜひ下記へお問い合わせください！

内容 毎月1回、ホストファミリーの皆さんが情報を交換する場としてミーティングを開催
問合せ NPO法人石狩国際交流協会 ☎62-9200

